様式２号（第５条関係）

修　士　論　文　要　旨

看護学専攻　　　　　老年看護学　　分野		学籍番号　220605 氏　　名　小山　美香
論文題目	介護老人福祉施設における高齢者の看取り体制を構築するための看護職の役割 ：看取りのPDCAサイクルを用いた検討	
キーワード	介護老人福祉施設，高齢者，看取り，PDCAサイクル，看護職	

【研究背景・目的】

介護老人福祉施設は原則、要介護3以上の高齢者が終の棲家として終身利用できる施設である。2006年の介護報酬改正において看取り介護加算が創設され、高齢者の看取りは介護老人福祉施設の重要な役割であることが示された。さらに 2015 年に看取り介護加算の要件として、看取り介護体制の構築および強化をPDCAサイクルにより推進することが求められたが、看護職が看取りのPDCAサイクルにどのように関わっているかは明確にされていない。そこで本研究は、介護老人福祉施設における高齢者の看取り体制を構築するために必要となる看護職の役割を明確化することを目的とした。

【研究方法】

研究デザインは質的記述的研究であり、高齢者の看取り介護を導入している介護老人福祉施設に所属する看護職12名を研究参加者とし半構造化面接を行った。インタビューデータより逐語録を作成し、看護職が実施している内容や看取り介護における看護職の役割について語られた箇所をコードとし、カテゴリ化を行った。本研究は三重県立看護大学研究倫理審査会の承認を得て実施した。(承認番号：203102)

【結果】

介護老人福祉施設における高齢者の看取り体制を構築するための看護職の役割として、【高齢者と家族が安心して施設で最期を迎えるための仕組みづくり】【職員が安心して看取りを実施するための教育的支援】【看取りにおいて医療的に必要となるケアの明確化】【看取りにおいて適切な医療を提供するための臨床判断】【高齢者にとって苦痛のない看取りを実施するための多職種連携と情報共有】【看護職の不在時に看取りを行う介護職への支援】【家族の思いや意向にそった支援】【高齢者への看取りに関する振り返りの実施】【看取りを経験した家族や介護職への配慮】の9カテゴリと30サブカテゴリが生成された。

【考察】

介護老人福祉施設における高齢者の看取りについてPDCAサイクルを用いて検討した結果、看護職には体制を整備〔Plan〕するために、施設における唯一の医療職として、研修や教育を通じて職員を支援すること、看取り介護〔Do〕においては、必要な医療的ケアを明確化した上で臨床判断のもとケアを実践し、看護職不在時に看取りを行う介護職を支援すること、振り返り〔Check〕としては、看取り後に家族との振り返りや多職種カンファレンスを設け、心理的支援を行うといった役割があることが示された。また、体制の改善〔Action〕に関するカテゴリは生成されなかったことから、看取り体制を見直し、施設内外に公表するという改善には、現状では至っていないと考える。看取りのPDCAサイクルを推進するために、看護職には医療的側面から評価を行い、課題を明確化し改善につなげるという役割があると思われる。そのような役割を看護職が担う体制を整えることによって、介護老人福祉施設は高齢者と家族がより安心して最期を迎えられる場となり、高齢者の看取り体制の構築につながることが示唆された。